アイデアバンク提案書（２４－１０）

朝倉市アイデアバンク設置要綱第３条の規定により、次のとおり提案します。

提案の名称	水の関連施設をグルメで表現
テーマ	☑ 観光・史跡　☐ 農畜産物　☐ 文化・スポーツ　☑ 教育 ☐ 子育て・福祉　☑ 環境　☑ ＰＲ　☑ 防災 ☐ その他（　　）
エ リ ア	☐ 観光地等　☐ 遊戯施設等　☐ 駅周辺　☐ 直売所・公園 ☑ 公的施設　☑ その他（　　）
提案の対象・意図	対象（　市内事業者　　） 意図（　水が豊かな朝倉市特有の水の施設をＰＲ　　）
提案の背景	朝倉市は水が豊かであり、水に関連する施設がたくさんある。九州一の大河である筑後川、山田堰、三連水車、女男石、江川ダム、寺内ダム、小石原川ダムなど、これだけ水に関連する施設があるのは朝倉市特有の魅力と言える。
提案の概要	水の施設をグルメで表現し、朝倉市の魅力をアピールすると共に、水の施設の役割を理解することへと繋げる。
提案の具体的内容	朝倉市の魅力を地元の飲食店などの協力を得ながら、グルメ（例えばカレーであれば、ダムカレー、筑後川カレー、三連水車カレー、山田堰カレーなど）で表現することで、それをきっかけに朝倉市にある水に関連する施設のことを知り、学ぶ機会をつくることができる。 また、全国的に人気が高いダムカードやマンホールカードを参考に、ダムカードをモチーフにしたグルメカードを作成し、活用することでさらに効果が高まる。今では、古墳カード、鉄道カード、農カード、漁師カード、棚田カードなど様々なカードがあり、時代の流れに適したツールといえるカードを活用することで、施設の歴史や役割、スペックなど詳細な情報を知ることができるだけでなく、訪れた記念品にもなる。さらに、朝倉市の水の施設と施設をモチーフにして作られたグルメマップを作成するといった活用の幅も広げられる。
事業効果	水に関連する施設との繋がりを深める機会を身近に創出することで、インフラ施設の役割を理解することができる。今後、５０周年を迎える江川ダムや寺内ダムへの感謝の気持ちと理解を深め、地域や関連団体等の協力を得ることで持続可能な地域振興に寄与することにもつながる。
特記事項	飲食店や関連団体等との連携や専門人材を活用することにより、さらに高い事業効果が期待できる。